

美しい山々に囲まれた長野県小谷村。登山やトレッキング、スキーなど自然を生かした観光振興を図っている。しかし、災害時は自然が猛威を振るい、集落が孤立するなど、住民や観光客に危険が迫る。村は、災害時の情報伝達を迅速にするため、WiFiFi（無線LAN）の整備を行った。導入したのはジェイズ・コミュニケーション（無線LAN）の整備を行った。導入したのはジェイズ・コミュニケーション（無線LAN）の整備を行った。導入したのはジェイズ・コミュニケーション（無線LAN）の整備を行った。導入したのはジェイズ・コミュニケーション（無線LAN）の整備を行った。

ジェイズ・コミュニケーション



黒川自然園

小谷村は人口3100人の相澤和之氏は同社製に人。山々の間を通る国道148号線が幹線道路になるが、山が険しいため迂回路が少ない。1995年の豪雨災害では、点在する集落が孤立した。

の相澤和之氏は同社製について「通信性能・品質の良さや豪雪地帯という過酷な自然環境に耐えられる頑丈さ、コストが安いことなど魅力がある製品」と評価する。

用を呼び掛けている。同村観光振興課観光商工係の鷲澤涼氏は「村では観光情報を集めたホームページを作成している。村内を周遊中に利用してほしい」と話す。

村にとって、災害時に連絡がとれる通信インフラの整備は喫緊の課題だった。このため村は昨年2月、総務省の地域公共

威力を發揮したのは、昨年11月22日に発生した最大震度6弱の長野県神城断層地震。村内も道路寸断や建物の倒壊とい

村外から来る観光客はほとんどスマートフォン（スマホ）やタブレット、パソコンを持っている。村の情報を得るため、WiFi導入にも候補が上がって

小谷村の地域防災に導入 ラッカス社製WiFi

通常時は観光分野で活用へ

ネットワーク等強じん化補助事業を活用し、村内8カ所の避難所（小学校や公民館、道の駅、役場など）にアクセスポイント屋外12カ所、屋内48カ所を設置した。設備は米ラッカスワイヤレス社製を採用した。

った被害が出て、住民ら避難所に退避した。しかし、災害対策本部となった役場からの情報はスムーズに各避難所に伝達され、避難所の住民は簡単に情報を得るとともに、村外の親戚や知人に連絡できた。

WiFiは重要だ。近年の場所の周辺を紹介する動画や季節の風景が映し出されるような観光案内を導入したい」と夢を語る。

同村総務課企画財政係



災害時に威力を發揮した同社の設備だが、通常時に遊ばせておくのはいらない。そのため同村では、無料WiFiポイントとして住民や観光客の利

情報を確実に行うことができる環境を整備する。もちろん、通常時は観光にも利用する。広大な敷地には多数のアクセスポイントが必要だが、同社製は他社製に比べ、ポイント数が少なくても広範囲をカバーできる。コストも低くなるため、同園でのWiFi導入にも候補が上がって

村役場屋上に設置した防災情報ステーション



ジェイズ・コミュニケーション

http://jscom.co.jp
東京都中央区新川1-16-3
☎03-6222-5858
大阪市淀川区西中島5-5-15
☎06-6309-7600

199.

鷲澤氏は「将来的には、ポイントに近づいたら、その